



株式
会社

鳥羽洋行



証券コード:7472

第 **61** 期

報告書

2009年4月1日>>>2010年3月31日

先端技術で社会と産業の進化を支える

Top Message

株主の皆様へ

最新の商品、技術及びサービスの提供

株主の皆様には、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り、
ありがたく厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第61期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の
報告書をお届けするにあたり、
ひとことご挨拶申し上げます。



当期の概況

当事業年度(以下、「当期」という。))における内外経済は、一昨年初に始まった金融危機が世界経済全体に大きな影響を及ぼし世界同時不況と言われるまでに至りました。その後、各国政府が経済対策を行ったことにより、緩やかな回復基調が続くようになり、ようやく最悪期を脱しつつあります。しかし、世界同時不況による世界的な信用収縮の影響は、昨年後半のドバイ・ショック並びに年明けにおけるギリシャ財政問題を誘発するなど、年度を通して不安定な状態が続きました。

このような世界経済の動きは、輸出依存度の高い我が国経済に対して著しい影響を及ぼし、企業収益は総じて大幅に低下する結果となり、激しい雇用不安が広がりました。雇用不安からくる個人消費及び民間需要の停滞は、企業の設備投資需要を長期にわたり後退させる景気の悪循環を生じさせ、国内経済も過去に類を見ない低迷状態を招いております。

当社における主要な取引先の多くは、デジタル家電、半導体、自動車・車載部品等の業界に属しており、これらの取引先も個人消費低迷及び輸出不振の影響を受けております。これら主力取引先の多くは、今回の景気後退局面に入ると同時に、かつてないスピードで不況に対応するための生産調整を開始したことによって、設備投資需要は急激に減少いたしました。

当社は、それらの取引先企業の設備投資需要に大きく依存しており、過去に経験したことがない厳しい環境下での経営を強いられました。年度の半ばからは政府の総合経済対策の恩恵を受ける取引先の設備投資が持ち直し始

めるとともに、今年に入ってからは、世界的な半導体需要の回復に伴って、半導体関連業界の取引先における設備投資が、回復基調になりました。このように、当期の後半に至って若干薄日がさし始めてきていますが、依然として全体的には予断を許さない状態が続いております。

このような状況の中で当社は、期初よりユーザー層の拡大のため新エネルギー関連企業の開拓を行うとともに、既存取引先においても、新しい部門・分野の開拓を行うなど、新しい需要の創造に取り組んでまいりました。一方、利益面におきましても年度を通じて厳しい環境が続くことを想定し、役員報酬の減額を含め、可能な限りの経費削減策を講じて、利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当期の売上高は前年同期比41.3%減の114億38百万円、営業損失は28百万円(前年同期は営業利益10億25百万円)、経常利益は前年同期比96.1%減の43百万円、当期純損失は36百万円(前年同期は当期純利益6億43百万円)を計上することとなりました。

なお、配当金につきましては、厳しい経営環境下ではありますが、株主の皆様の日頃のご支援にお応えし、安定的な配当を維持させていただきたく、1株当たり30円を第61回定時株主総会でご決議させていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月
取締役社長 三浦 直行

当社は、空気圧機器、電子機器などの制御機器をはじめ、ロボット等のFA機器、産業機器を国内外の有力なユーザーへ販売する機械工具の専門商社です。そのため、業務範囲は幅広く、コンサルティングから分析、提案、製品納入、アフターサポートまで一貫して行い、産業のあらゆる場面に及んでいます。

対処すべき課題

当社は、社是にある「信用第一」を経営のモットーとして活動してまいりました。とりわけ「株主」、「得意先」、「仕入先」、「社員」を満足させることが経営理念の根幹であり、その理念を堅持することによって、業績も大過なく堅実経営を維持してまいりました。

しかしながら、一昨年の金融危機以降の経済情勢において、かつて経験をしたことがない厳しい環境下での経営を余儀なくされております。

現在の世界的な景気後退局面はしばらく続き、急激な回復は望めないものと想定いたします。当社の属する機械工具業界も、過去に類を見ない厳しい状況となり、今後も存亡を賭けた同業他社との競争が続くものと予想いたします。

当面は、目先の予測すら困難な状況ではありますが、当社100年の歴史の過程で蓄えた商売のノウハウ、人材、仕入先・得意先からの信用をこの時期にこそいかして、今後の成長に向けて、チーム力を結集して困難を乗り越えてまいり所存であります。

このような環境下で、今後対処すべき喫緊の課題は下記のとおりであります。

- ① 売上高の回復及び拡大
大幅な減収減益傾向から脱却し、当期純利益の確保をめざすとともに、新たな収益基盤の構築を行う必要があります。
 - ・ 国外（中国）における販路の拡大
 - ・ 新しい有望業種（マーケット）への参入
 - ・ 既存取引先に対する取引深耕
 - ・ 新しい商品の開発
- ② 企業体質の強化
景気の先行きは依然として不透明であるとともに、今後しばらくは、成長型経済への転換は望みにくいものと想定し、厳しい競争経済に耐え得る企業体質強化が必要となります。
 - ・ 新しい有望な人材の確保・育成
 - ・ コンプライアンス教育の継続
 - ・ 国際会計基準導入への準備体制

部門別概況

制御機器

生産工場の構成には
欠かせない

当部門は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器などで構成されており、主として実装機、デジタル機器、半導体製造装置、自動車・車載部品などの得意先へ販売しております。デジタル機器、自動車・車載部品関連等の得意先における設備投資が、前事業年度に比して大幅に減少したため、売上高は前年同期比31.2%減の49億62百万円となりました。

FA機器

工場の自動化・
コストダウンを実現

当部門は、ロボット、自動組立機、チップマウンター、レーザー加工機などで構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、基板実装などの得意先へ販売しております。国内におけるデジタル機器、自動車・車載部品、基板実装等の得意先における設備投資が大幅に減少し、なかでも従来比較的好調であったロボット、マウンターの需要の落ち込みが厳しかったため、売上高は前年同期比52.9%減の46億16百万円となりました。

産業機器

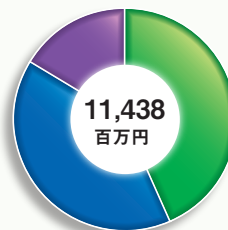
生産組立て作業に
使用されている

当部門は、電気ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、環境システムなどで構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器などの得意先へ販売しております。エネルギー関連等の得意先の需要は好調でありましたが、自動車・車載部品等の得意先における設備投資需要の回復が遅れているため、売上高は前年同期比25.0%減の18億58百万円となりました。

売上高

当期

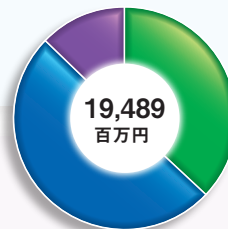
平成22年3月期



- 制御機器
4,962百万円 (43.4%)
- FA機器
4,616百万円 (40.4%)
- 産業機器
1,858百万円 (16.2%)

前期

平成21年3月期



- 制御機器
7,218百万円 (37.0%)
- FA機器
9,793百万円 (50.3%)
- 産業機器
2,478百万円 (12.7%)

() 内は構成比

Business Review

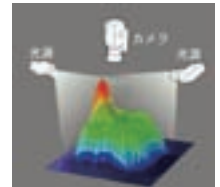
注目商品

3Dはんだ印刷検査機 (コーヨンテクノロジー社)

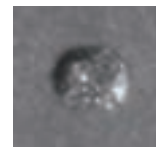
コーヨンは特許技術であるデュアル・プロジェクション (Dual Projection) を通して、両側から光源を提供することによって、角や谷間のような任意の形状を持った対象物のすべての領域に対して光が到達し、はんだペーストの全体体積を正確で精密に測定することができます。



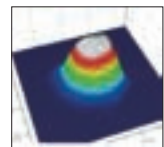
3D外観検査機



特許技術
「デュアル・
プロジェクション」



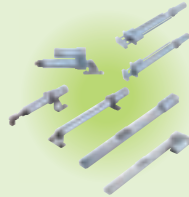
2D画像



3D画像



5ポートソレノイドバルブ
SMC (株)



ガイド付ジグシリンダー
(株)コガネイ



レーザーセンサ
SUNX (株)



垂直多関節ロボット
(株)デンソーウェーブ



マウンター
ヤマハ発動機(株)



レーザーマーカ
ミヤチテクノス(株)

ロボシリンダー
(株)アイエイアイ



電動ドライバー
(株)ハイオス

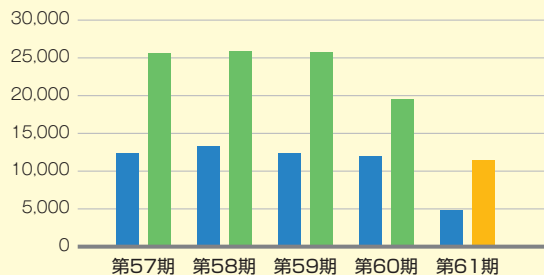


コンベア
三機工業(株)

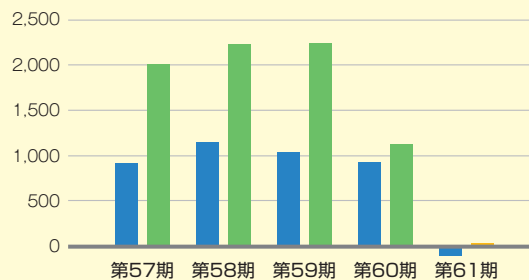


無人搬送車
(株)タクマ精工

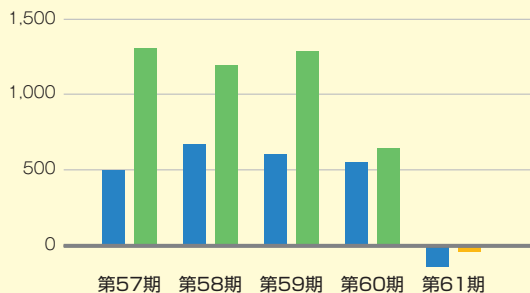
売上高 (単位: 百万円) ■ 中間 ■ 期末 ■ 当期末



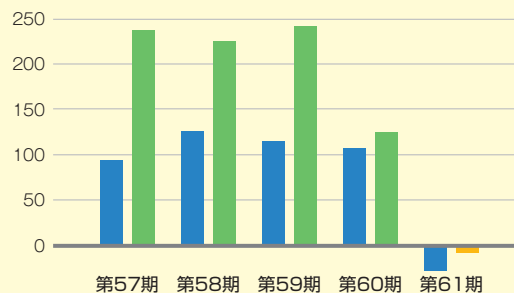
経常利益 (単位: 百万円) ■ 中間 ■ 期末 ■ 当期末



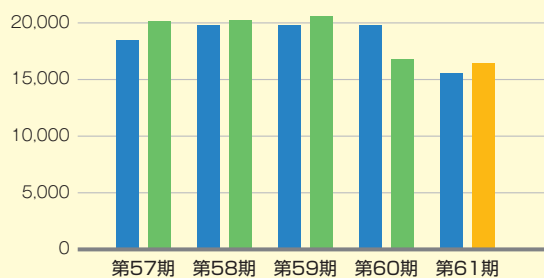
当期純利益 (単位: 百万円) ■ 中間 ■ 期末 ■ 当期末



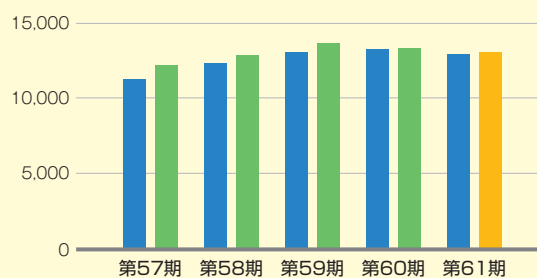
1株当たり当期純利益 (単位: 円) ■ 中間 ■ 期末 ■ 当期末



総資産 (単位: 百万円) ■ 中間 ■ 期末 ■ 当期末



純資産 (単位: 百万円) ■ 中間 ■ 期末 ■ 当期末



貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成22年3月31日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成22年3月31日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	11,516,025	11,949,417	流動負債	3,134,353	3,289,865
現金及び預金	6,566,260	5,965,612	支払手形	1,049,353	1,359,754
受取手形	661,880	928,187	買掛金	1,829,927	1,576,678
売掛金	4,151,310	4,834,123	1年内償還予定の社債	40,000	80,000
商品	32,069	50,160	未払法人税等	15,442	14,298
繰延税金資産	55,717	70,065	賞与引当金	90,000	120,000
その他	48,900	101,405	その他	109,630	139,134
貸倒引当金	△114	△136	固定負債	210,372	228,264
固定資産	4,910,395	4,895,913	社債	—	40,000
有形固定資産	2,074,121	2,137,325	長期未払金	41,778	69,561
建物	682,166	722,051	繰延税金負債	144,469	94,577
土地	1,379,100	1,399,385	役員退職慰労引当金	24,125	24,125
その他	12,853	15,888	負債合計	3,344,726	3,518,129
無形固定資産	15,887	17,516	純資産の部		
投資その他の資産	2,820,386	2,741,072	株主資本	13,013,910	13,305,339
投資有価証券	934,922	854,033	資本金	1,148,000	1,148,000
長期預金	1,500,000	1,500,000	資本剰余金	1,261,059	1,261,059
その他	385,677	387,830	利益剰余金	11,064,850	11,356,279
貸倒引当金	△213	△791	自己株式	△460,000	△460,000
資産合計	16,426,421	16,845,331	評価・換算差額等	67,784	21,861
			その他有価証券評価差額金	67,784	21,861
			純資産合計	13,081,694	13,327,201
			負債及び純資産合計	16,426,421	16,845,331

財務諸表

Financial Statement

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	11,438,180	19,489,811
売上原価	9,728,599	16,373,730
売上総利益	1,709,580	3,116,080
販売費及び一般管理費	1,738,517	2,091,073
営業利益又は営業損失(△)	△28,936	1,025,007
営業外収益	76,348	111,353
営業外費用	3,683	6,234
経常利益	43,728	1,130,125
特別利益	364	24,737
特別損失	22,992	9,130
税引前当期純利益	21,100	1,145,732
法人税、住民税及び事業税	21,400	435,100
法人税等調整額	36,129	67,102
当期純利益又は当期純損失(△)	△36,429	643,530

会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。
従業員数	196名 (男性：145名 女性：51名) (平成22年3月末現在)

役員

代表取締役社長	三浦 直行
常務取締役	藤原 茂夫
取締役	鶴川 健
取締役	遠藤 稔
取締役	鳥羽 重良
取締役	松永 健一
取締役	尾関 真一郎
常勤監査役	尾日向 宏
監査役	上田 正
監査役	池田 圭介
監査役	金森 浩之

営業ネットワーク

西日本営業部

- 名古屋営業所
- 滋賀営業所
- 大阪営業所
- 兵庫営業所
- 広島営業所
- 福岡営業所
- 大分営業所
- 今治駐在所

関東第一営業部

- 川越営業所
- 熊谷営業所
- 前橋営業所
- 宇都宮営業所
- 仙台営業所

中国

- 鳥羽 (上海) 貿易有限公司

- 本社 (管理本部・営業本部・海外営業部・特機システムグループ)

関東第二営業部

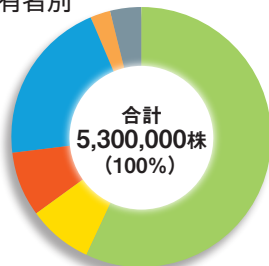
- 東京営業所
- 東京南営業所
- 千葉営業所
- 茨城営業所
- 厚木営業所
- 八王子営業所
- 甲府営業所
- 松本営業所
- 静岡営業所
- 沼津営業所
- 青森出張所

株式数及び株主数

発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	5,300,000 株
株主数	2,098 名

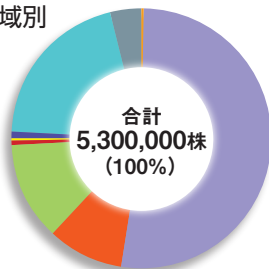
株式数分布状況

所有者別



個人・その他	3,031,404株 (57.19%)
金融機関	423,300株 (7.98%)
その他国内法人	430,000株 (8.11%)
外国人	1,080,000株 (20.37%)
証券会社	135,296株 (2.55%)
自己株式	200,000株 (3.77%)

地域別



北海道	4,801株 (0.09%)
東北地方	17,820株 (0.33%)
関東地方	2,766,444株 (52.19%)
中部地方	495,202株 (9.34%)
近畿地方	657,468株 (12.40%)
中国地方	21,522株 (0.40%)
四国地方	16,210株 (0.30%)
九州・沖縄地方	40,333株 (0.76%)
国外	1,080,200株 (20.38%)
自己株式	200,000株 (3.77%)

株主優待制度のお知らせ

制度の内容は、下記のとおりであります。

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
	オリジナル・クオカード 3,000円相当	オリジナル・クオカード 1,000円相当
		

GREENSHOES CARD

このカードは、日常生活から排出される二酸化炭素など温室効果ガスおよそ6kg分[※]の削減に協力する《カーボンオフセット機能付きプリペイドカード》です。

このカードを手にしたあなたも、日常生活のなかで地球温暖化防止への取り組みに参加しています。

※排出権取得の実勢レートより(2008年8月現在)

当期のIR実施状況

- ▶平成21年5月12日 証券アナリスト向け決算説明会
(みずほインベスターズ証券本社にて)
- ▶平成21年8月24日 証券営業員向け会社説明会
(当社大会議室にて)
- ▶平成21年11月10日 証券アナリスト向け決算説明会
(みずほインベスターズ証券本社にて)
- ▶平成22年1月20日 個人投資家向け会社説明会
(みずほインベスターズ証券三鷹支店会議室にて)



IR写真(平成22年1月20日
みずほインベスターズ証券 三鷹支店会議室にて開催)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 (http://www.toba.co.jp/) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、単元未満株式の 買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金を口座振込(株式数比例配分方式を除く。)または配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様は、同封の「配当金計算書」を確定申告の際に添付する支払通知書としてご使用いただくことができます。

なお、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。



株式会社 鳥羽洋行

〒112-0005東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎ (03) 3944-4031
<http://www.toba.co.jp/>